

静岡県林業技術者協会の沿革

- 昭和37年7月22日 静岡県集運材架線技士協会設立
【目的】会員の知識、技術の進歩向上に務め、精算能率の増進、災害の防止を図り産業の振興に寄与する。
【会員】15 地区協会 1,902 名
【会費】地区協会 3,000 円 会員 200 円
- 昭和 40 年 第1回継索技術競技会開催(昭和 44 年第 5 回まで)
集運材架線技士国家試験準備講習会開催
- 昭和 45 年 索道技術コンクール開催
- 昭和 46 年 チェーンソーによる目立て、断材、安全作業等に関する
技能コンクール開催(単年度)
- 昭和 48 年 静岡県木材切断技術コンクール開催
(途中伐木造材コンクールに名称変更
S47,S49,S55,S56,S58,S59 に実施)
- 昭和 49 年 林業架線技士再教育講習会開催
(林業架線作業主任者へ切り替え講習、昭和 50 年まで)
- 昭和 51 年 チェーンソー目立実技講習会開催(昭和 52 年まで)
【会員】16 地区協会 879 名
【会費】会員 500 円
- 昭和 52 年 静岡県林業技術者協会に名称変更
【会員】16 地区協会 914 名
- 昭和 54 年 チェーンソー目立技術競技会開催(昭和 56 年まで及び昭和 58 年)
- 昭和 61 年 チェーンソー分会組立技術競技会開催(平成 2 年まで)
【会員】15 地区協会 1,245 名
【会費】地区協会 5,000 円 会員 600 円
- 平成 3 年 静岡県継索技術競技会開催(平成 5 年まで)
- 平成 6 年 静岡県伐木造材技術競技会開催
【会員】15 地区協会 869 名
【会費】地区協会 10,000 円 会員 700 円
- 令和 2 年 新型コロナウイルス感染拡大により伐木競技会開催中止
【会員】12 地区協会 254 名
- 令和 3 年 新型コロナウイルス感染拡大により伐木競技会開催中止
【会員】12 地区協会 246 名
- 令和 4 年 第 27 回、第 28 回静岡県伐木造材技術競技会開催
- 令和 5 年 第 29 回静岡県伐木造材技術競技会開催
【会員】11 地区協会 240 名